

図書館利用者と平和台図書館長との懇談会

- 1 日時 平成29年11月2日（木）午後2時～3時30分
- 2 場所 平和台図書館 会議室
- 3 参加者 利用者 12名
- 4 テーマ より多くの方に利用してもらえる図書館とは
～地域の皆さまに開かれた「場」を目指して～
- 5 次第
 - (1) 平和台図書館長挨拶
 - (2) 図書館職員紹介
 - (3) 参加者自己紹介
 - (4) 図書館事業説明
 - (5) 懇談

図書館利用者と平和台図書館長との懇談会 会議録

1 平和台図書館長挨拶

省略

2 図書館職員紹介

省略

3 参加者自己紹介

省略

4 図書館事業説明

（一般）

- ・今年度は27回、健康・子育て・教養のテーマをメインに行っている。
- ・今回参加の方でイベント参加者はゼロ。
- ・イベントの目的は普段図書館を利用しない人も図書館に来やすくし、「意外と利用しやすい」と思っただけようにすること。

（児童・中高生向け）

- ・小さなお子さんの利用率が高いが、より利用してもらえるよう工夫してイベントを開催。水曜日のおはなし会、こうさく会／木曜日の赤ちゃん向けイベント。

(年代別利用者統計の説明)

- ・利用が少ない層（１３～３０歳）の取り込みを図りたい。

5 懇談

利用者 児童コーナーは独立していて利用しやすく、子供も増えた。中高生にとって居心地のいい場所をつくる必要があるのではないか。中高生対象の行事も、十分周知したうえで行ってほしい。

利用者 チラシをもらった今年７月開催のバリアフリー映画会は、上映作品が中高生向けとは言い難かったので、今後内容を検討してもらえるとありがたい。

図書館 （１月の上映作品は『ドルフィン・ブルー』と紹介。）

利用者 中高生から子供へ働きかけるイベントを希望。中高生にアンケートを取ってもいいのではないかな。自分が関わるイベントなら来なくなるはず。

図書館 ・中高生向けのイベントとして（配布資料の２７．手芸教室を挙げ）針を使わない簡単な手芸もある。

・学校支援員による中学校へのポスター掲示にて告知強化している。

利用者 ・良い企画があれば中高生の参加が増えるのでは、と思っている。
・本の帯を作成してもらい、おすすめ本と一緒に展示しては。
・中学校側でイベント等を宣伝してもらうために校長先生等の許可が必要なので、連携をもっと取って繋がりやすくしてはどうか。

図書館 中学生は読み聞かせをすることに抵抗があるのではないかな。図書委員を通しての働きかけもしていきたい。

利用者 休み時間に本を読んでいる子が結構いるので本好きな子は多いのでは。または、学校のＯＢ、ＯＧ、ＰＴＡ、町会を巻き込んで行ったら良い。職場体験は発表が必要なので他の生徒たちへの意識づけになる。

利用者 コピー機で図書館以外の資料もコピーできるようにできないか。たくさんコピーする人はカウンターへ申し出てもらうようにすれば問題ない。

図書館 近隣にコンビニがないので他にもそういった要望あり。コピー機を置くにあたり著作権法の制約があるため、図書館資料のみとなっている。

体育館 コピー機は事務所に１台。一般の方が希望されることは無く受付もしていない。ただし、大会などの資料は１枚１０円と承諾を受けてコピーしている。

利用者 子供たちの図書館に関する話題は“勉強する場所”としての案内くらい。皆と一緒に和やかに、情報交換しながら勉強する場があればいいと思う。足

を運ぶきっかけになると思うので、期間限定でもいいからおしゃべりしながら、お菓子をつまみながら勉強する場はできないか。

利用者 昨年の夏休みに図書館から将棋の本をたくさん借りて来た子供がいて、将棋がうまかった。読書記録をベースに読書感想文の書き方のガイダンス（＝成長記録）をしてはどうか。

個人情報に関わるかもしれないが、その時々貸出データを成長記録として活用できれば、読書で子供たちをサポートできるかもしれない。

日常に本と繋がることを意識して積み上げることで、その子にとっての財産となり、後で足跡を振り返ってわかる。

利用者 読書手帳（通帳）はないのか。

図書館 中学校で作っているところがある。署名を記入し、冊数ではなくページ換算で一定のところで表彰。練馬図書館では昨年度小学生向けと中学生向けの2種類があった。

利用者 布の絵本の利用率を知りたい。どんなものが人気があるかわかれば、今後作る時の参考になる。

利用者 試験時期だけでもリラックスして寝転がって本を読めるスペースを設けてはどうか。

利用者 中庭のテラスを活用してはどうか。ベンチでもあれば中高生も使えるので。

利用者 光が丘はベランダに出てお話しできるところがある。

図書館 避難通路の一部だが、それを確保できればパラソルなどを置いて活用できるかもしれない。ただ蚊が多いのがネック。

勉強する場としては、空いているときに会議室を臨時閲覧席として開放している。騒がしい子には注意。会議室1は静かに、会議室2はしゃべってもOKなど分けることが出来るかもしれない。

利用者 子供たちのおしゃべりが、勉強を教え合っているのか、私語なのか…両方かも。

利用者 図書館として譲れない所をきちんと話して、わかってもらう。時間がかかることだが。

利用者 勉強したい人と読書したい人で分ける日があってもいいかもしれない。

図書館 勉強机にぴったりの席になってしまったので、一般席も勉強するようになっている。本を読む人のためにマットの上にクッションを置くなどすれば

ラックスして読める。机にこだわる必要はない。

利用者 フレキシブルに、いろんな可能性を考えてほしい。言うのは簡単だけど。

利用者 町会の方たちの歓談の場になればいい。整形外科のように図書館を利用してもらおう。

利用者 お母さんは周りの目が気になるので、お子さんが泣いても大丈夫なスペースが欲しい。フレキシブルな“場”の活用。

利用者 おひぎのうえのおはなし会はお子さんが泣いても問題ない。児童コーナーは自動ドアがあるから多少は大丈夫。

幼い子たちは幸せ。でも、児童コーナーを有名にしてほしい。「児童コーナーはどこにあるの？」に対してキャッチーな言葉で2階を宣伝してほしい。1階の入口を入ってもどこにあるのかすぐにはわからないため。絨毯のコーナーを中高生に利用してもらえるようにできないか。

利用者 ぱっと見てわかるような館内表示にしてほしい。

利用者 自分達の作ったタペストリーを図書館の展示作品と一緒に飾ってほしい。

利用者 布の絵本はブックスタートで必ず紹介している。

利用者 クリスマス会で小学生以下のお子さんに渡すおみやげを100個作成している。中高生向けのスペースがあれば、そういう会でなくても中高生向けのおみやげのようなものを置かせてもらい、自由に持って行っていいことにする、ということができないか。

児童館 お土産作成を、図書館イベントの手芸教室と連携すれば喜んでもらえるかもしれない。

利用者 もう来年のクリスマスの展示などを考えている。(デパート等でチェック) 小・中学生にアイデアを募集して、手作りしている。

利用者 ビブリオバトルはしないのか。規模は小さくなくても老若男女10人くらいでテーマ無しで自分が好きな本を紹介しているのを見たことがある。1人何分とルールを決め、最後に投票・最多得票の本＝“チャンプ本”となり展示されるので選ばれるとうれしい。対象を決めなくてもいいので、気軽に参加できるイベントになるといい。

図書館 図書館の行事として検討中。

利用者 おすすめ本もいいが、“一日で感想文を書こう”など、教員経験者にレクチャーや面倒を見てもらう。本は図書館で選んでも自分で搜してもいいが、図

書館内を歩く経験を。たとえば午前中に本を選び読む。午後に感想文を書く。

図書館 宿題の支援も検討している。

利用者 調べ物の内容を把握してほしい。自由研究のコーナーを夏休みに作り、「まずは図書館に行こう」と思わせてほしい。「まず本屋へ」ではなく。

利用者 自由研究の本が「どこにあるか」を表示してほしい。

利用者 詳しく知りたい人はあちらへ、など、より奥まで案内できるといい。

図書館 自由研究コーナーはあったが見にくかったかもしれない。

利用者 一般・児童とも「調べ物します」ともっと大きくしっかり宣伝してほしい

利用者 イベントがあることを知らなかった。老人会でみんなに伝えていきたい。

図書館 回覧板しか出していないが、直接お渡しすることもできる。

利用者 パンフレットは出しているのか。役員会でOKが出ればイベントなどもっと宣伝していきたい。

図書館 へいわだいだよりを月1回発行している。

利用者 区民館のものは回覧板を回しているからたぶん問題ない。バリアフリー映画会は普通の映画と違うことが分かりにくかった。

図書館 より宣伝していきたい。

利用者 児童コーナーにも子育て中のお母さん向け地域の情報がほしい（ホワイトボードに児童館のお知らせなどが分かるようなもの）

利用者 児童コーナーの水飲み場の上に時計がほしい。時間が分からないので、読み聞かせの時も大変なので、絨毯からでも時間が分かるように。）